



私の思い出写真館

安倍元総理発案 兄弟対決実現！



長瀬 朋彦

イマジカ・ロボット
ホールディングス
取締役社長

安倍晋三元総理は成蹊大学出身である。神戸製鋼を経て政界に入った。その兄、寛信(ひろのぶ)氏も成蹊出身で、三菱商事に入社した。私の兄、長瀬文男もやはり成蹊を出て三菱商事に入社。私はと言えば同じく成蹊を出て旭硝子に入社した(二人とも現在、映像サービスの会社、イマジカ・ロボットホールディングスを経営している)。私と寛信氏が同じ学年で、その二つ下に晋三氏がおり、二つ上に文男兄がいた。成蹊大学出身仲間というだけですぐに昔からの仲間の気持ちになれるのが同窓の良いところである。

この写真は、昨年(平成22年)の夏休み、安倍家の別荘に集合し、安倍兄弟の御母上と共に



対決前夜の団らん



平成22年8月、富士桜カントリー倶楽部6番ホールにて

楽しい夕食をご一緒した翌日、フジサンケイクラシック開催直前の富士桜カントリー倶楽部で兄弟対決を行った時のものである。

兄弟対決といっても、左右打ち分けによるラスベガス方式で、ホールごとにパートナーが変わる。大接戦や、いかに!?…出だしは調子が出なかった晋三氏。好調の文男兄貴は一人勝ち(?)街道をまっしぐら。絶不調の私とお友だちになることが多かった寛信氏はいざというときのロングパットをしっかりと決める、そうとう粘っこい頑張り屋タイプ。出だし不調の晋三氏に「少しハンディを調整しましょうか」と歩み寄った文男兄貴の申し出を潔く断る晋三氏。「途中でルールを変えたんじゃ、たとえ勝つてもうれしくないでしょ」とあくまでも筋を通すあたりに自然な政治家としての器(公平さ)を垣間見た。

後半に入ってから晋三氏は、徐々に安定感を取り戻し、なんと前半の大負けを取り返してしまった。安倍兄弟は粘り強いのだ。最後まで良い所を見せることができなかった私が最悪の一人負けを喫してしまった。快晴のもと、富士山を背景に、悔しくて楽しい思い出に残るゴルフであった。